

平成 24 年度愛知県委託調査

「消費買い物環境調査事業」

—買い物環境及び買い物行動に関するアンケート調査結果報告書—

平成 2 5 年 2 月



目 次

調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の設計	1
3. 回答結果	1
[参考]市区町村別の回答状況	2
回答者の属性	3
報告書についての留意事項	3
調査結果のポイント	4
調査結果	6
1. 買い物主体（普段、生鮮食料品を買いに行く人）	6
2. 買い物頻度	7
3. 自宅から“一番近い店”（最寄店）の買い物環境	8
4. “一番よく利用する店”（利用店）の買い物環境	11
5. 移動手段	13
6. 現在の買い物に対する不便感	15
7. 将来の買い物に対する不便感	19
8. 現在の買い物支援サービスの利用状況	20
9. 将来利用したい買い物支援サービス	22
10. 今後の買い物支援サービスの実施主体	24
11. 商店街の利用状況と今後の必要性	25
◆高齢買い物弱者の推計	27
◆買い物環境についてのご意見・ご要望	30
[付帯]県内各市町村が実施する買い物支援に寄与する公共サービスの一覧	35
集計結果表	39
アンケート調査票(様式)	53

【調査の概要】

1. 調査の目的

少子高齢化の進展や家族・地域のつながりの希薄化など、社会情勢の大きな変化に伴い、買い物の場所や移動手段の確保など、日常の買い物に必要な支援が受けられずに困難と感じる方、いわゆる“買い物弱者”が増えています。とりわけ、高齢層における買い物弱者についてはさまざまな課題や問題が出てきています。

本調査は、県内に在住する高齢者が置かれている買い物環境等の実態を把握し、民間企業、NPO、行政等が行う今後の買い物支援策の推進のための基礎資料とすることを目的として実施したものです。

2. 調査の設計

調査実施者：愛知県産業労働部商業流通課

(業務受託者：株式会社 JTB サポート中部)

調査時期：平成 24 年 9 月 3 日～平成 24 年 9 月 30 日

調査方法：郵送による無記名アンケート方式

調査対象：県内在住の満 65 歳以上の高齢者 10,000 人

抽出方法：層化二段無作為抽出

県内の高齢者から、市町村および区（名古屋市の場合）ごとの人口比に応じて人数を配分し、無作為に男女 10,000 人を抽出し、(世帯より 1 名、単身者含む。) 選定するというもの。

3. 回答結果

調査票配布数：10,000 人

有効回答者数： 5,961 人

有効回答率： 59.6%

	該当市区町村数	※母数となる高齢者数(人)	配布対象者数(人)	有効回答者数(人)	有効回答率(%)
愛知県計	69	1,577,699	10,000	5,961	59.6
名古屋市	16	493,332	3,120	1,745	55.9
人口 30 万人以上の市	5	381,395	2,400	1,499	62.5
人口 10 万～30 万人未満の市	9	271,583	1,740	1,082	62.2
人口 10 万人未満の市	23	343,629	2,190	1,316	60.1
町村	16	87,760	550	319	58.0

市区町村ごとの回答状況については、次ページ【参考】のとおり。

※母数となる高齢者数：愛知県県民生活部統計課「あいちの人口(推計) 年齢別(各歳)人口」(平成 24 年 10 月 1 日現在)による 65 歳以上人口 1,577,699 人
愛知県内総人口 7,425,952 人に対する割合(高齢化率) 21.26%

[参考]市区町村別の回答状況

	配布数	有効 回答者数 (人)	有効 回答率 (%)		配布数	有効 回答者数 (人)	有効 回答率 (%)
全体計	10,000	5,961	59.6	人口10万人未満の市	2,190	1,316	60.1
名古屋市	3,120	1,745	55.9	津島市	90	55	61.1
千種区	210	117	55.7	碧南市	90	45	50.0
東区	120	67	55.8	蒲郡市	120	64	53.3
北区	270	151	55.9	犬山市	120	74	61.7
西区	210	114	54.3	常滑市	90	60	66.7
中村区	210	105	50.0	江南市	150	92	61.3
中区	90	44	48.9	新城市	90	55	61.1
昭和区	150	88	58.7	大府市	120	84	70.0
瑞穂区	150	90	60.0	知多市	120	80	66.7
熱田区	90	51	56.7	知立市	90	46	51.1
中川区	300	157	52.3	尾張旭市	120	69	57.5
港区	210	112	53.3	高浜市	60	33	55.0
南区	240	133	55.4	岩倉市	60	38	63.3
守山区	240	125	52.1	豊明市	90	60	66.7
緑区	270	161	59.6	日進市	90	60	66.7
名東区	180	110	61.1	田原市	90	57	63.3
天白区	180	120	66.7	愛西市	90	46	51.1
人口30万人以上の市	2,400	1,499	62.5	清須市	90	58	64.4
豊橋市	510	302	59.2	北名古屋市	120	66	55.0
岡崎市	450	284	63.1	弥富市	60	37	61.7
一宮市	540	319	59.1	みよし市	60	33	55.0
春日井市	420	277	66.0	あま市	120	68	56.7
豊田市	480	317	66.0	長久手市	60	36	60.0
人口10万～30万人未満の市	1,740	1,082	62.2	町村	550	319	58.0
瀬戸市	210	134	63.8	東郷町	33	22	66.7
半田市	150	93	62.0	豊山町	30	12	40.0
豊川市	270	164	60.7	大口町	30	22	73.3
刈谷市	150	84	56.0	扶桑町	33	24	72.7
安城市	210	127	60.5	大治町	30	11	36.7
西尾市	240	152	63.3	蟹江町	33	14	42.4
小牧市	180	115	63.9	飛島村	30	20	66.7
稲沢市	210	139	66.2	阿久比町	30	20	66.7
東海市	120	74	61.7	東浦町	60	32	53.3
				南知多町	30	18	60.0
				美浜町	30	17	56.7
				武豊町	60	37	61.7
				幸田町	31	17	54.8
				設楽町	30	19	63.3
				東栄町	30	21	70.0
				豊根村	30	13	43.3

【回答者の属性】

－上段：人数、下段：％－

年齢	合計	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	無回答
	5,961 100.0	1,452 24.4	1,833 30.7	1,460 24.5	894 15.0	314 5.3	8 0.1
性別	合計	男性	女性	無回答			
	5,961 100.0	2,682 45.0	3,271 54.9	8 0.1			
世帯構成	合計	一人暮らし	夫婦のみ	子と同居	それ以外	無回答	
	5,961 100.0	744 12.5	2,293 38.5	2,611 43.8	293 4.9	20 0.3	
自動車運転	合計	自ら運転する	免許は持っているが運転しない	免許を持っていない	無回答		
	5,961 100.0	3,163 53.1	390 6.5	2,370 39.8	38 0.6		
インターネット利用	合計	利用している	利用していない	使用できる環境がない	無回答		
	5,961 100.0	916 15.4	2,772 46.4	2,138 35.9	135 2.3		

※報告書についての留意事項

1. 基数となるべき実数は、「全体」として掲載しました。すべての比率は「全体」を100%として、小数点第2位を四捨五入して算出していますが、さらに各回答項目の比率の合計が100.0%となるよう、回答比率の一番大きいカテゴリーの小数点第1位の数値を加減して、調整しています。
2. 複数の回答項目の比率を合計する場合(例 p19[図表 26]、p21[図表 30]ほか)は、当該項目の各比率を単純に足し上げています。
3. 本報告書の文章、表、グラフ等の見出しの回答選択肢は、本来の意味を損なわない程度に省略して掲載している場合があります。
4. 今回の調査結果は、自宅から一番近い店および一番利用している店までの平均移動距離を推計していますが、その推計方法は以下のとおりです。

例：問5 最寄店までの平均移動距離

	合計	問5 最寄店までの距離				推計平均距離(m)
		①500m以内	②500m超～1km以内	③1km超～1.5km以内	④1.5km超	
全体計(回答者数)	5,837	2,483	1,886	870	598	714

図表中①から④までの各カテゴリーに属する回答者数に、そのカテゴリーの中間値(①「500m以内」は250m、②「500m超～1km以内」は750m、③「1km超～1.5km以内」は1.25km。なお、「1.5km超」のカテゴリーは、便宜的に1.75kmとみなす)を掛け合わせていきます。そして、これらを合計した数値に全体の回答者数(5,837人)で割り戻して、平均距離(714m)を推計しています。

調査結果のポイント

●自宅から一番近い店および一番よく利用している店の買い物環境●

	業 態		店舗までの距離 500m以内	店までの 平均距離 (推計)	利用している 割合
	個人商店	スーパー・ ショッピング センター			
自宅から一番近い店 (最寄店) P8～10参照	6.5%	82.2%	41.7%	714m	72.2%
一番よく利用している店 (利用店) P11～13参照	3.3%	88.5%	29.3%	871m	—

●買い物に対する不便感●

★県内高齢者の5人に1人が買い物に不便を感じている

県内の65歳以上の高齢者を対象にアンケート調査を実施したところ、回答者のおよそ5人に1人(19.8%)が買い物に不便を感じていると回答。人数にして、約31万人が買い物に不便を感じていると推計される【図表18(P15)、高齢買い物弱者の推計(P27～29)】

★買い物に不便を感じている理由のトップは「近くに買い物できる店がない」こと

買い物に不便を感じている高齢者にその理由を尋ねたところ、6割以上が「近くに買い物できる店がない」(63.8%)と指摘し、次いで「重たい物やかさばる物の買い物が困難」(47.4%)と「買い物に行くための交通手段が不便」(33.8%)が続く【図表23～24(P17)】

★高齢者の買い物に影響を与えるのは、「年齢」と「店舗までの移動距離」

<年齢>

- ・高齢になるにつれて、移動手段は自ら「自動車」を運転する人の割合が減少し、「徒歩」や家族等が運転する「自動車」の割合が増加しており、他の移動手段に移行している【図表15(P13)】
- ・高齢になるほど不便を感じる人の割合が上昇し、「80歳以上」になると「65～69歳」の2倍以上になる【図表18(P15)】

<店舗までの移動距離>

- ・移動距離が長くなるにつれて、買い物頻度も少なくなる【図表3(P7)】
- ・移動距離が長くなるにつれて、「徒歩」や「自転車」で買い物に行く人の割合が減少する一方で、「自動車」や「公共交通機関」を利用する人の割合が増加している【図表16(P14)】
- ・「一番よく利用する店までの移動距離」が長くなるにつれて、買い物に不便を感じる人の割合が上昇し、500m以内と1.5km超の場合を比べると、4倍以上に拡大【図表20(P16)】

●買い物支援サービス●

★買い物支援サービスを利用している人の割合は1割にも満たず

現在、何らかの形で買い物支援サービスを利用していると回答した高齢者の割合は、わずかに7.5%。利用しているサービス項目のトップは、「生協の共同購入・宅配サービス」(55.2%) [図表 28~29 (P20)]

★過半数が将来利用したいサービスとして「弁当惣菜の宅配サービス」を挙げる

加齢に伴う調理が困難になることを想定して「弁当惣菜の宅配サービス」が将来利用したいサービスのトップ、移動手段の確保として「お店への送迎サービス」も3割近くの人

●商店街の必要性●

★高齢者の3人に1人が、近くに「商店街が必要である」と回答

買い物に不便を感じる時に、近くに商店街は必要になるかについて尋ねたところ、「商店街は必要である」とする人の割合に「どちらかという必要である」とする人の割合とを合計した“商店街必要派”は6割に上っている [図表 37 (P26)]

高齡買い物弱者数推計 (P27~29 参照)

愛知県の「買い物弱者」の定義

「買い物に不便を感じている65歳以上の高齢者」のうち、以下の4要件すべてを満たしていること

- ①商店が近く(500m以内)にない
- ②徒歩・自転車で買い物に行けない
- ③自動車を運転できない(しない)
- ④インターネットを利用できない(しない)

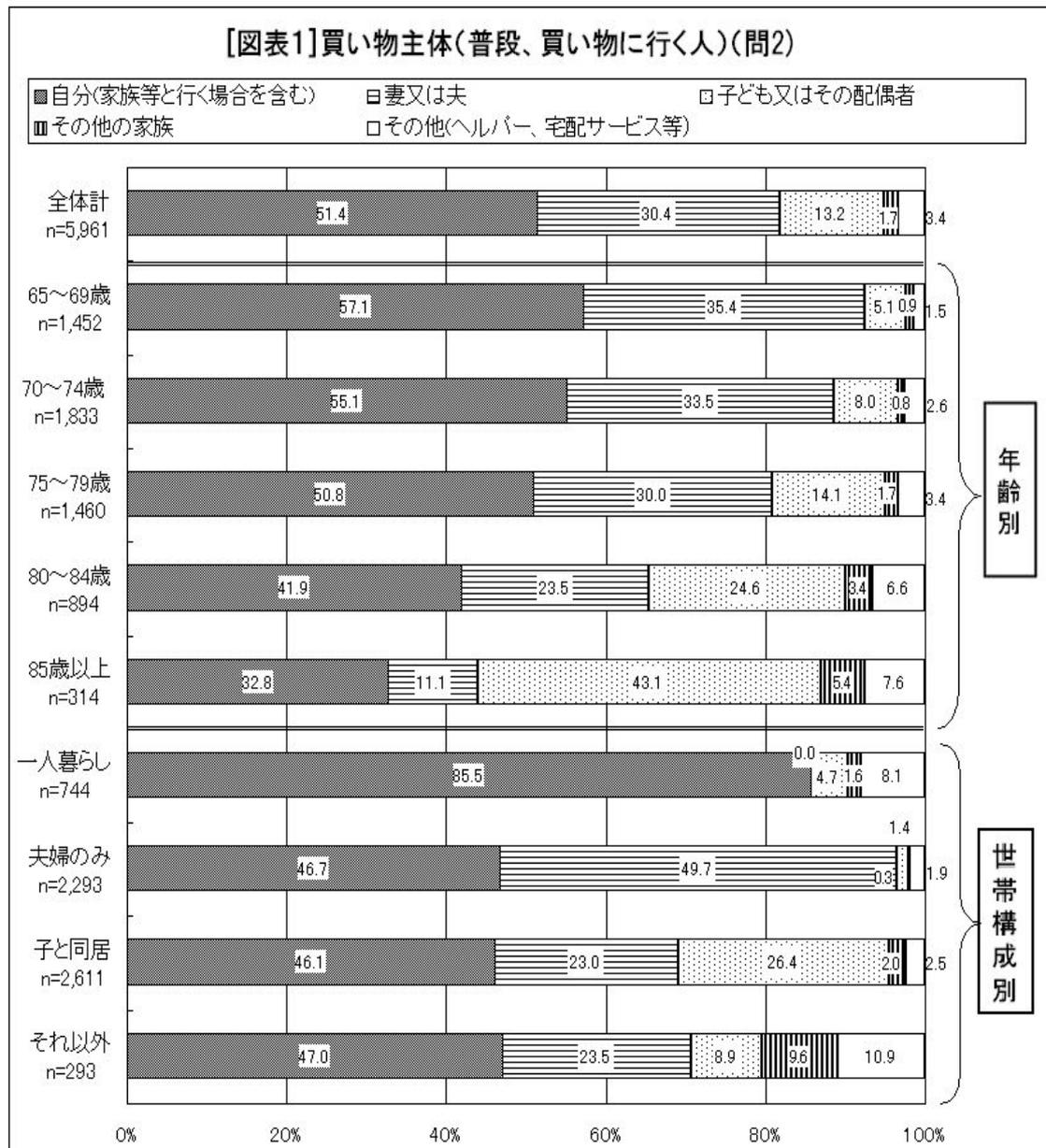


県内の高齡買い物弱者数は、約8万2000人
(県内の全高齡者に占める割合の約5%に相当)

調 査 結 果

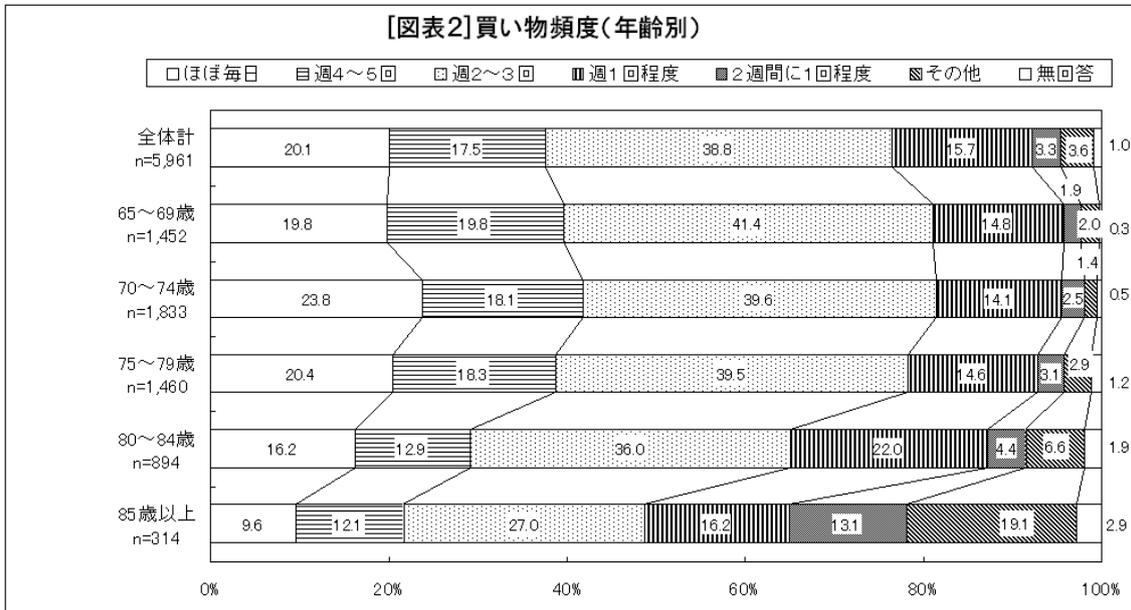
1. 買い物主体（普段、生鮮食料品を買いに行く人）（問2）

・全体では回答者の半数以上が「自分」で買い物に行くとしているが、高齢になるにつれて「子ども又はその配偶者」など家族の支援に頼る人が増加する。また、子と同居していても「自分」で買い物に行く人も半数近くに上る【図表1】

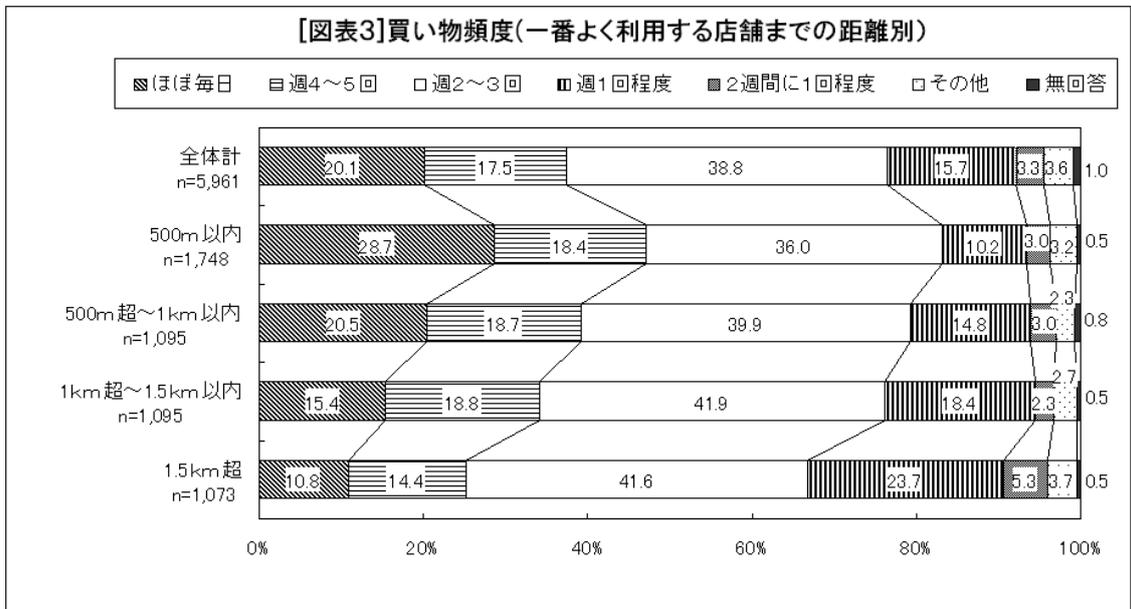


2. 買い物頻度（問3）

- ・「週2～3回」が約4割と最も多いが、「ほぼ毎日」も2割を占める。高齢になるほど、買い物の頻度は減少傾向【図表2】

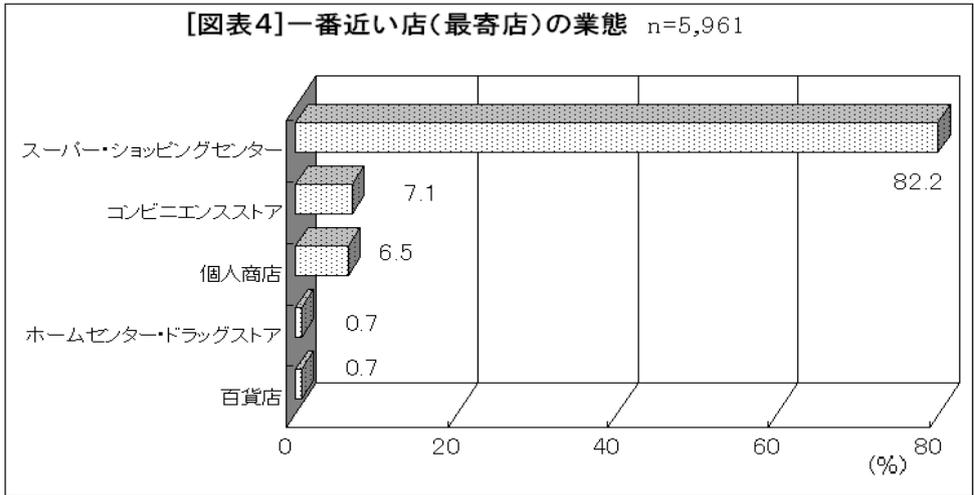


- ・一番よく利用する店舗（以降、「利用店」という）までの移動距離が長くなるにつれ、買い物頻度は減少していく【図表3】

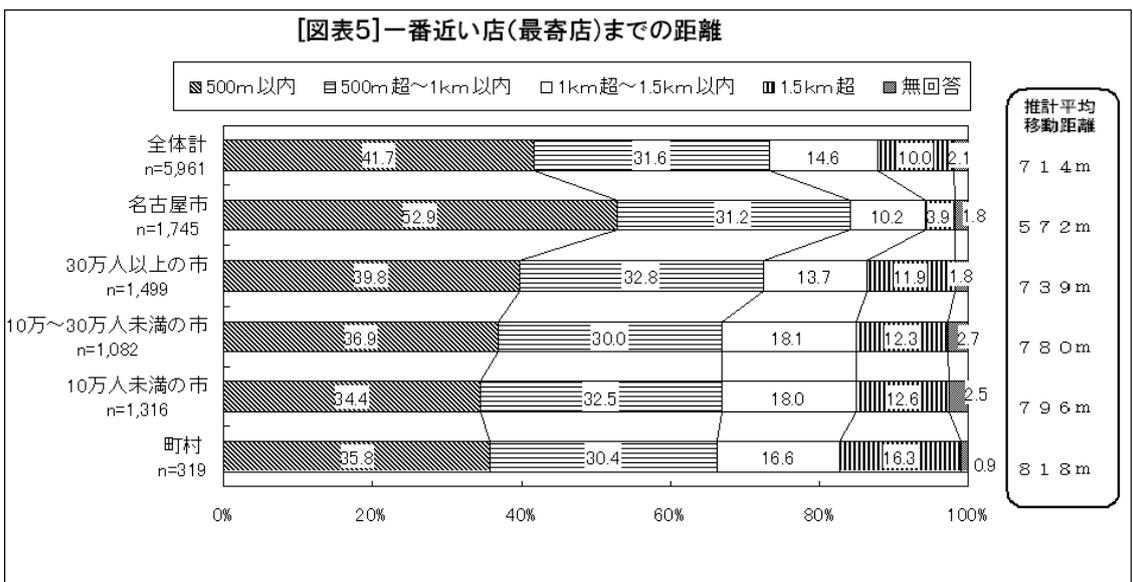


3. 自宅から“一番近い店”（最寄店）の買い物環境（問4～7）

- ・自宅から一番近い店舗（以降、「最寄店」という）の業態は、「スーパー・ショッピングセンター」が全体の82.2%を占めて圧倒的多数、次いで「コンビニエンスストア」（7.1%）、「個人商店」（6.5%）の順となる【図表4】

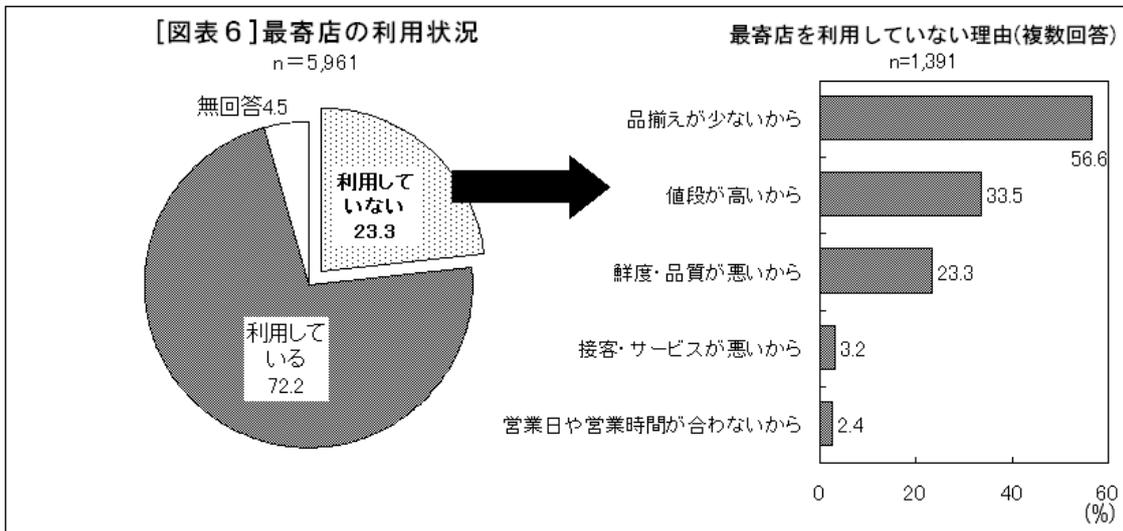


- ・最寄店が「500m 以内」の距離にある人は41.7%、次いで「500m 超～1km 以内」が31.6%と、回答者4人に3人が「1km 以内」の買い物圏。また人口が多い都市ほど、最寄店が近距離にあり、名古屋市は過半数が「500m 以内」圏内に買い物場所があると回答【図表5】
- ・最寄店までの平均距離(推計)は全体で714m。町村部の818mは名古屋(572m)の約1.4倍の距離【図表5】

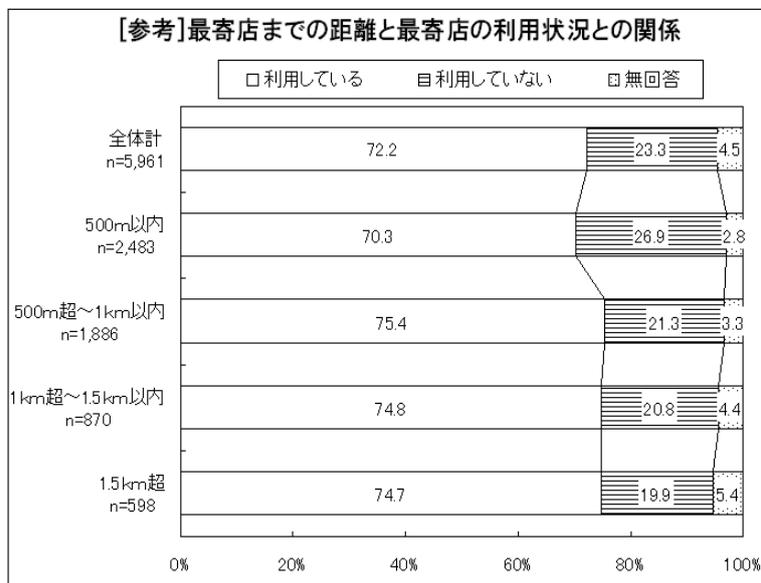


- ・最寄店を利用していない高齢者は2割強。利用していない理由の上位3項目は「品揃えが少ないから」(56.6%)、「値段が高いから」(33.5%)、「鮮度・品質が悪いから」(23.3%)

【図表6】



参考までに、最寄店までの距離と利用状況との関係をみたところ、自宅から「500mを超える」人の4人に3人が最寄店を利用しているが、「500m以内」の人も7割を超えており、移動距離による利用度の差はあまりみられない【参考】



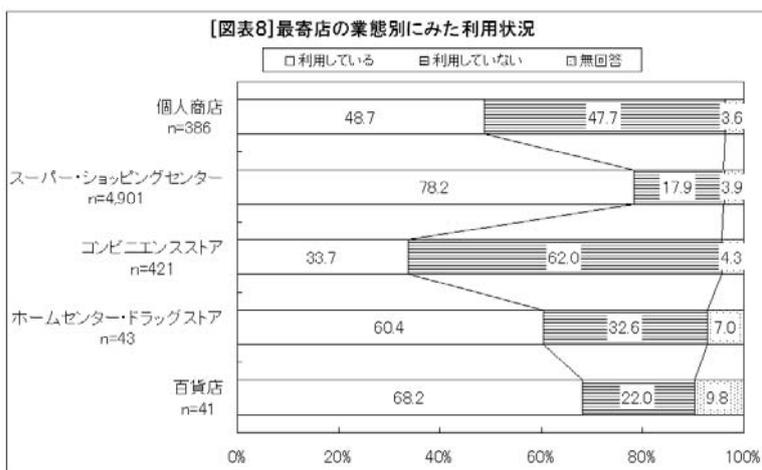
- ・最寄店の業態と自宅からの距離との関係をみたところ、最寄店が「個人商店」である人は、全体として数は少ないが、そのうちの約6割が「500m以内」にある。一方、圧倒的多数である、最寄店が「スーパー・ショッピングセンター」である人の場合、「500m以内」とする人は4割弱となっている【図表7】

【図表7】最寄店の業態と距離の関係(問4×問5)

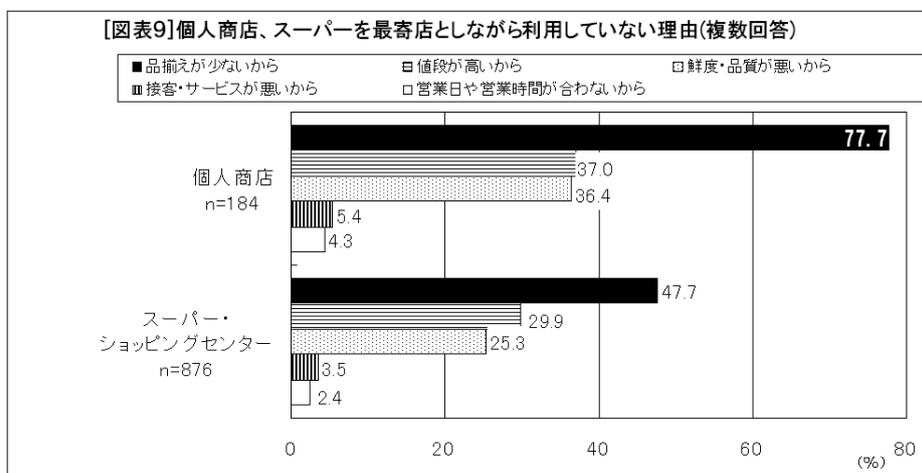
	合計	問5 最寄店までの距離					
		500m以内	500m超~1km以内	1km超~1.5km以内	1.5km超	無回答	
全体計	5,961 100.0	2,483 41.7	1,886 31.6	870 14.6	598 10.0	124 2.1	
問4 最寄店 の業 態	個人商店	386 100.0	235 60.9	87 22.5	25 6.5	32 8.3	7 1.8
	スーパー・ショッ ピングセンター	4,901 100.0	1,869 38.1	1,645 33.6	787 16.1	525 10.7	75 1.5
	コンビニエンスス トア	421 100.0	288 68.3	88 20.9	26 6.2	15 3.6	4 1.0
	ホームセンター・ ドラッグストア	43 100.0	17 39.5	11 25.6	11 25.6	4 9.3	0 0.0
	百貨店	41 100.0	18 43.9	10 24.4	3 7.3	7 17.1	3 7.3

- ・最寄店を利用している割合を業態別にみると、個人商店で半数近く、コンビニエンスストアで3割程度であるのに対し、スーパー・ショッピングセンターは約8割を占める

【図表8】



- ・最寄店である「スーパー・ショッピングセンター」と「個人商店」を利用していない理由を比較すると、「個人商店」では「品揃えが少ないから」が8割近くを占める【図表9】



4. “一番よく利用する店”（利用店）の買い物環境[問8～9、問11]

- ・利用店の業態は、「スーパー・ショッピングセンター」が約9割と圧倒的多数。高年齢になるほど「個人商店」利用も増加[図表10]

	合計	問8 一番よく利用する店(利用店)の業態						無回答	
		個人商店	スーパー・ショッピングセンター	コンビニエンスストア	ホームセンター・ドラッグストア	百貨店	その他		
全体計	5,961 100.0	195 3.3	5,278 88.5	100 1.7	25 0.4	75 1.3	148 2.5	140 2.3	
年齢別	65～69歳	1,452 100.0	40 2.8	1,347 92.7	9 0.6	4 0.3	8 0.6	31 2.1	13 0.9
	70～74歳	1,833 100.0	42 2.3	1,875 91.5	17 0.9	6 0.3	24 1.3	39 2.1	30 1.6
	75～79歳	1,460 100.0	56 3.8	1,286 88.2	29 2.0	3 0.2	21 1.4	32 2.1	33 2.3
	80～84歳	894 100.0	33 3.7	743 83.2	28 3.1	9 1.0	12 1.3	28 3.1	41 4.6
	85歳以上	314 100.0	23 7.3	222 70.7	16 5.1	3 1.0	10 3.2	19 5.7	22 7.0
	無回答	3 100.0	1 12.5	5 62.5	1 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 12.5

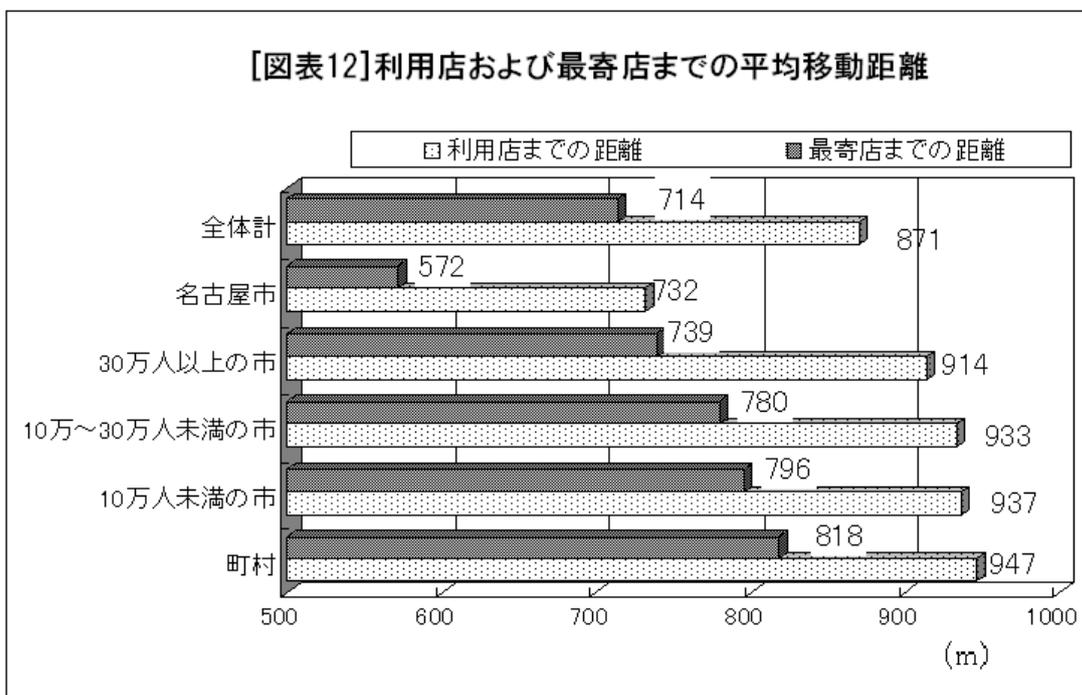
- ・回答者全体では、利用店までの移動距離が自宅から「500m以内」の人は約3割を占めるが、規模別にみると、名古屋市を除く市町村では、自宅から「1.5km超」の店を利用する者も2割を超える。また年齢別では、若年ほど、遠方の店を利用する傾向が強く、65～69歳は自宅から1kmを超えた店を4割以上の人を利用している。

- ・最寄店と比べて、利用店までの距離の分布は遠隔地に拡散している。「500m以内」でみると、最寄店が約4割に対して、利用店は約3割にとどまり、最寄店が必ずしも利用店となり得ない状況がわかる[図表11]

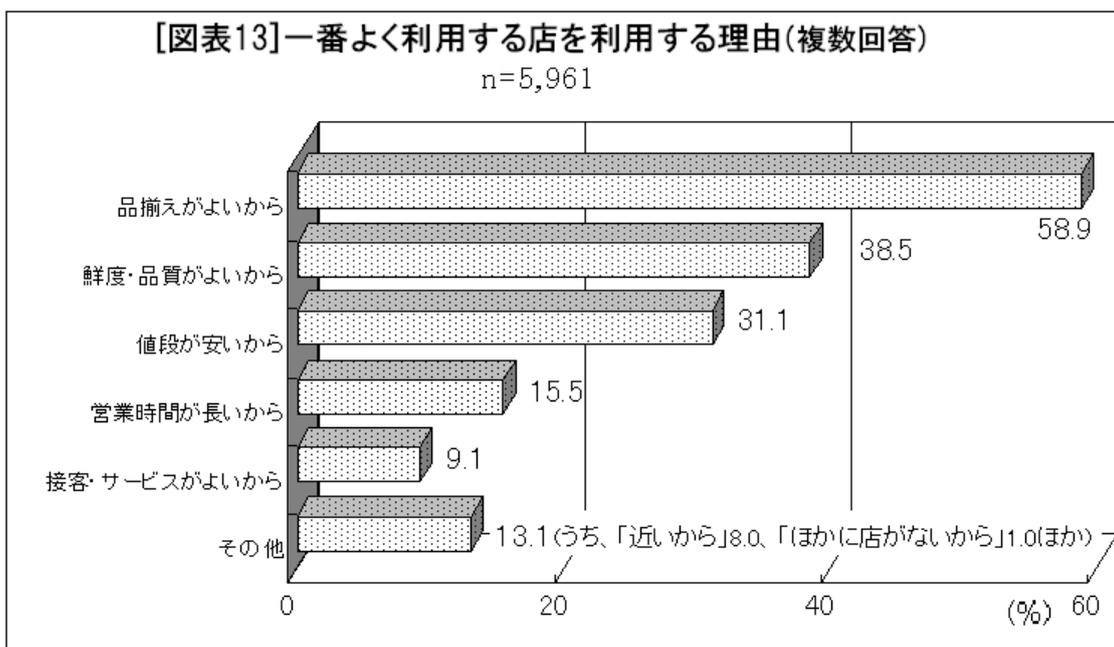
[図表11] 利用店および最寄店までの距離の分布状況

	合計	利用店	最寄店	利用店と最寄店との差			
				500m以内 (徒歩10分以内)	500m超～1km以内 (同11～20分)	1km超～1.5km以内 (同21～30分)	1.5km超 (同31分以上)
全体計		100.0	29.3	30.6	18.4	18.0	3.7
		100.0	41.7	31.6	14.6	10.0	2.1
			△12.4	△1.0	3.8	8.0	1.6
名古屋市	利用店	100.0	38.8	31.7	16.0	10.1	3.4
	最寄店	100.0	52.9	31.2	10.2	3.9	1.8
			△14.1	0.5	5.8	6.2	1.6
30万人以上の市	利用店	100.0	26.7	31.0	17.1	21.7	3.5
	最寄店	100.0	39.8	32.8	13.7	11.9	1.8
			△13.1	△1.8	3.4	9.8	1.7
10万～30万人未満の市	利用店	100.0	24.4	30.0	20.9	20.2	4.5
	最寄店	100.0	36.9	30.0	18.1	12.3	2.7
			△12.5	0.0	2.8	7.9	1.8
10万人未満の市	利用店	100.0	25.0	29.4	20.8	21.1	3.7
	最寄店	100.0	34.4	32.5	18.0	12.6	2.5
			△9.4	△3.1	2.8	8.5	1.2
町村	利用店	100.0	24.8	29.4	18.5	23.2	4.1
	最寄店	100.0	35.8	30.4	16.6	16.3	0.9
			△11.0	△1.0	1.9	6.9	3.2
85～69歳	利用店	100.0	28.2	28.7	18.0	22.3	2.8
	最寄店	100.0	43.9	30.6	13.7	10.1	1.7
			△15.7	△1.9	4.3	12.2	1.1
70～74歳	利用店	100.0	27.8	31.0	20.1	18.4	2.7
	最寄店	100.0	40.5	33.3	14.7	9.9	1.6
			△12.7	△2.3	5.4	8.5	1.1
75～79歳	利用店	100.0	30.9	33.1	17.7	14.7	3.6
	最寄店	100.0	41.5	31.2	15.5	9.3	2.5
			△10.6	1.9	2.2	5.4	1.1
80～84歳	利用店	100.0	31.6	29.1	17.2	16.1	6.0
	最寄店	100.0	40.3	30.5	15.3	10.9	3.0
			△8.7	△1.4	1.9	5.2	3.0
85歳以上	利用店	100.0	30.3	28.3	15.9	17.2	8.3
	最寄店	100.0	42.4	31.8	11.8	11.5	2.5
			△12.1	△3.5	4.1	5.7	5.8

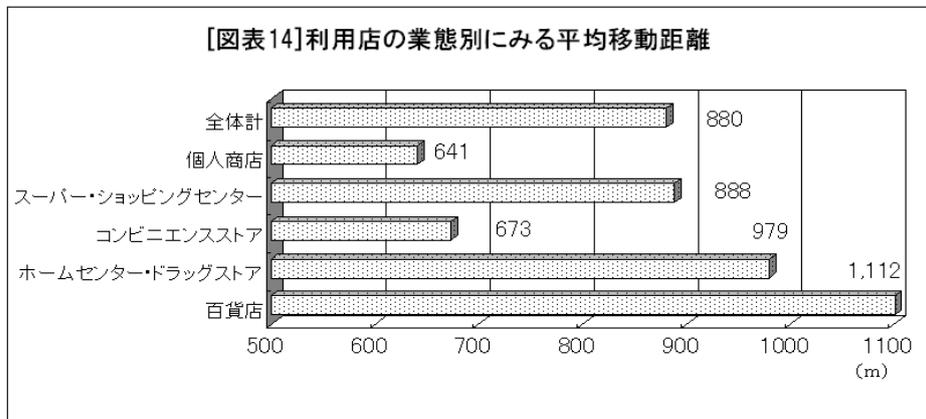
- ・利用店と最寄店の移動距離（推計）を比較すると、よく利用している店舗までは自宅から 871m と最も近い店よりも 150m 以上離れた場所で買い物をしている。人口規模別に見ると、人口規模が小さいほど遠方になっており、名古屋市以外は自宅から 1km 近く離れた場所で日常の買い物をしている【図表 12】



- ・利用店を「利用している」理由の上位3項目は「品揃えがよいから」(58.9%)、「鮮度・品質がよいから」(38.5%)、「値段が安いから」(31.1%)と、値段よりも鮮度や品質を重視【図表 13】



- ・利用店の業態別にみた平均移動距離(推計)は、スーパー・ショッピングセンターが 888m、個人商店が 641m、コンビニエンスストアが 673m。近所の個人商店やコンビニよりも、品揃えや品質がよく、安価な商品を扱う遠方のスーパー・ショッピングセンターを利用する行動が浮き彫りになった【図表 14】

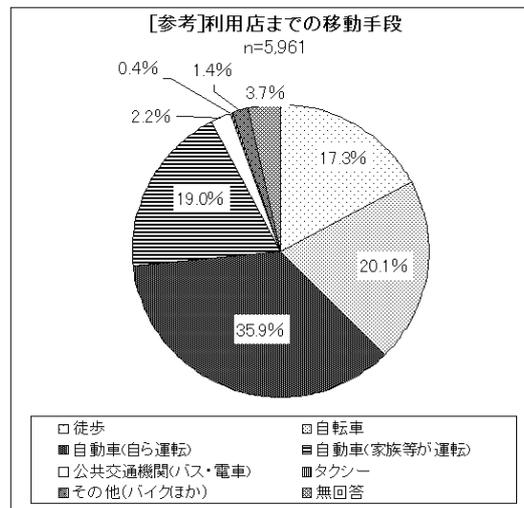


5. 移動手段【問10】

- ・利用店までの移動手段は、「自動車（自ら運転）」が 35.9%と最も多く、続いて「自転車」(20.1%)と「自動車(家族等が運転)」(19.0%)、「徒歩」(17.3%)の順となっており、半数以上が「自動車」を利用している。
- ・人口規模別にみると、名古屋市とそれ以外の市町村で異なる傾向を示す。名古屋市は「徒歩」「自転車」を利用する割合が合わせて半数を超える一方で、名古屋市以外の市町村は3割前後にとどまり、「自動車」移動が6~7割を占める
- ・年齢別にみると、65~69歳では半数近くの人が自ら自動車を運転しているが、高齢になるにつれ、加齢に伴う運転技術の低下などの要因により、家族等が運転する自動車や徒歩など、自分自身が運転しない移動手段に移行している。これが買い物に対する不便さにも影響を及ぼすと考えられる【図表 15】

【図表15】利用店までの移動手段(問10)

	合計	問10 利用店までの移動手段							無回答
		徒歩	自転車	自動車 (自ら運 転)	自動車 (家族等 が運転)	公共交通 機関(バ ス・電 車)	タクシー	その他 (バイク ほか)	
全体計	5,961 100.0	1,032 17.3	1,201 20.1	2,135 35.9	1,131 19.0	131 2.2	23 0.4	86 1.4	222 3.7
人口規模別									
名古屋市	1,745 100.0	496 28.4	437 25.0	418 23.8	217 12.4	90 5.2	5 0.3	22 1.3	62 3.6
30万人以上の市	1,499 100.0	198 13.2	300 20.0	584 39.0	319 21.3	18 1.2	6 0.4	26 1.7	48 3.2
10万~30万人未満の市	1,082 100.0	140 12.9	182 16.8	435 40.3	261 24.1	7 0.6	4 0.4	14 1.3	39 3.6
10万人未満の市	1,316 100.0	162 12.3	233 17.7	543 41.4	270 20.5	11 0.8	8 0.6	23 1.7	66 5.0
町村	319 100.0	36 11.3	49 15.4	157 49.1	64 20.1	5 1.6	0 0.0	1 0.3	7 2.2
年齢別									
65~69歳	1,452 100.0	195 13.4	241 16.6	720 49.6	224 15.4	19 1.3	1 0.1	17 1.2	35 2.4
70~74歳	1,333 100.0	268 14.6	396 21.6	740 40.4	307 16.7	36 2.0	4 0.2	25 1.4	57 3.1
75~79歳	1,460 100.0	232 19.3	332 22.7	457 31.4	269 18.4	41 2.8	5 0.3	16 1.1	58 4.0
80~84歳	894 100.0	206 23.0	179 20.0	178 19.9	222 25.0	28 3.1	9 1.0	19 2.1	53 5.9
85歳以上	314 100.0	80 25.5	51 16.2	38 12.1	109 34.8	7 2.2	4 1.3	8 2.5	17 5.4
無回答	8 100.0	1 12.5	2 25.0	2 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 12.5	2 25.0



・移動手段と移動距離の関係をみると、自宅から“1km以内”に「徒歩」が9割以上、「自転車」が8割以上を占める。一方、「自動車」を利用する者は“500m超”から移動手段とする割合が高くなっている【図表16】

【図表16】移動手段別利用店までの移動距離(問10×問9)

	合計	問9 利用店までの移動距離					推計平均距離(m)
		500m以内	500m超~1km以内	1km超~1.5km以内	1.5km超	無回答	
全体計	5,961	1,748	1,822	1,095	1,073	223	880
問10 利用店までの移動手段							
徒歩	1,032	724	238	45	9	16	425
自転車	1,201	480	493	140	59	29	655
自動車(自ら運転)	2,135	320	677	539	551	48	1,066
自動車(家族等が運転)	1,131	140	308	289	355	39	1,143
公共交通機関(バス・電車)	131	6	24	35	60	6	1,346
タクシー	23	2	5	6	7	3	1,200
その他	86	20	24	17	17	8	949
無回答	222	56	53	24	15	74	743
	100.0	29.3	30.6	18.4	18.0	3.7	
	100.0	70.0	23.1	4.4	0.9	1.6	
	100.0	40.0	41.0	11.7	4.9	2.4	
	100.0	15.0	31.8	25.2	25.8	2.2	
	100.0	12.4	27.2	25.6	31.4	3.4	
	100.0	4.6	18.3	26.7	45.8	4.6	
	100.0	8.7	21.7	26.1	30.5	13.0	
	100.0	23.3	27.8	19.8	19.8	9.3	
	100.0	25.2	23.9	10.8	6.8	33.3	

・移動手段別に利用店までの平均距離(推計)をみると、徒歩 425m、自転車 655m、自動車(自ら運転) 1066m、自動車(家族等が運転)1143m となり、自動車移動の距離は、徒歩移動の2倍以上に相当する【図表17】

